



## News

04

No. 2013 May



コラム この一枚！  
「どうです、にあっていますか？」

お父さんといっしょにやって来たトーゴ共和国のお嬢ちゃんは、子ども用ゆかたに挑戦です。

協会テントで実施した「ファッションで国際交流一ゆかた体験会」でのこの1枚！いかがですか？似合っていますか？

国際友好フェアでは、来場者に異国の珍しい民芸品やB級グルメなど、日本と違う文化を体験していただいているが、外国人の方にも日本の文化を体験していただこうと、ちょっと変わった試みとして、今年は「ゆかた体験会」を行いました。

お父さんに手を引かれながら、ちょっとおすまして大人の気分？ 小さい時、日本で過ごしてたくさんの思い出を作ることでしょうけど、今日のこの「ゆかた姿」も思い出の一コマとして、西アフリカの祖国に帰った後も忘れないでね。

センターでは、お正月に外国の方を対象とした「着物着付け体験会」を実施しています。みなさん、こちらにもぜひ参加してください。



## CONTENTS

- ① 国際友好フェア2013
- ② 委員会始動
- ③ 委員会活動報告
- ④ インタビュー
- ⑤ リレーコラム
- ⑥ イベントスケジュール

## 「ケニアって知ってる？」



「気持ちを合わせて！」  
ウクレレ合奏団

晴天に恵まれた5月3、4日、市民の森 見沼グリーンセンターで「国際友好フェア2013」を開催しました。『花と緑の祭典』として「春の園芸まつり」「シビックグリーンさいたま」と同時開催しています。

姉妹・友好都市紹介（ビデオ上映）をはじめ、交流テント内ではスタンプラリー、フェイスペイント、折り紙、ステンシル体験など、大人も子どもも“わいわい”と盛り上りました。今年も、国際交流・協力について遊びながら学ぶ「国際ワークショップ」を開講。会場では「もっと知ってもらおう IEC 宣伝大作戦」も実施しました。

# 新しい体制で、委員会活動始動！

IECには、異文化交流事業委員会と支援・学習事業委員会という二つの委員会があり、それぞれ市民の国際交流や地域の外国人支援に関わる活動を行っています。

## ● 異文化交流事業委員会 ●

異文化交流事業委員会としては「多文化共生」をメインテーマに「相互理解」「双方協力」出来るよう努力していきます。ボランティア活動も「したいことをする」ばかりではなく、「やるべきこと」もしなければならないときがあるでしょう。

楽しく、やりがいのあるボランティア活動を目標に置き、委員会の各事業が、参加者にとってだけでなく、私たち自身のパワー・スポットになれるようがんばります。ご協力とご参加、よろしくお願ひいたします。

(田中カツ子委員長)



### 簡易生活相談

月曜～木曜の毎日10～12時、12～15時、15～18時の時間帯の中で当番に入り、生活相談を受付。外国人の生活相談者は少ないが、スタッフは国際交流センターでの催し等を積極的に紹介。  
本年度も研修会を予定。

### ミニ講座・サロン展示

ミニ講座は毎回大好評で、リピーターの受講者も多い。「国際交流」「異文化理解」「多文化共生」などをキーワードに各国の歴史、文化、講師の得意分野などをテーマに講演。講座を通して異文化を知ることで、お互いを認め合うきっかけともなる。

また、ミニ講座と連動したパネルまたは月間テーマを展示。

### おしゃべりサロン

異文化交流の目標を「外国語・文化を学ぶことによる、自己文化・自己の再発見」に置いて、さまざまな言語（中・英・韓・スペイン・ロシア・日本語）に触れ、親しみたいという人たちの楽しい集まりの場として運営。

### はじめましての会

来日間もない外国人（主に留学生）と市民との継続的な交流機会を提供し、留学生がキャンパスの外にも良き市民の友人を得、また日本の文化・社会を知る機会を作る。市内の大学や語学学校へ幅広く声をかけ、当委員会の多文化共生事業の核とする。

### 日本語国際センター交流会

会員が国際交流を求める中、外国人と一緒に会し日本語で交流ができる場として価値が高い。  
今後、会員以外にもアピールし、フレッシュなイベントを目指す。

### ホームビジット

宿泊を伴わない簡易ホームステイであるため、留学生にとっても、ホストファミリーにとっても負担が少なく、参加しやすい。留学生の帰国後もホストファミリーとの交流が続いている例もあり、両国の友好につながるきっかけとなっている。

### 姉妹都市交流

さいたま市が姉妹・友好都市として提携している6都市、トルーカ（メキシコ）、鄭州（中国）、ハミルトン（ニュージーランド）、リッチモンド、ピツバーグ（アメリカ）、ナナイモ（カナダ）との国際交流活動を行うとともに、交流実績を資料として整理・保存し、また、姉妹・友好各都市の勉強会を開催。

### 着物着付け体験会

美しい着物を着て、日本文化の代表的な初詣が体験できるため、外国の方（特に留学生）には大人気のイベント。例年多数の参加申し込みがあり、国際交流としての意義も高い。本年度も1月に開催予定。

## ● 支援・学習事業委員会 ●

従来の継続事業のほか、今年度より新たに「ぶらっとあそぼうドットgわいわいサロン」「ユース国際ボランティア」「ボランティア養成講座」の3事業を加え、よりパワーアップして臨みます。これらの活動を通して地域に住む、今まで接点のなかった国籍や世代の違う人びとの出会い、そこから生まれるつながりを大切に育んでいきたいと思います。

そうして見えてきた課題から、地域社会の実状にあ

ったプログラムを作り出し、外国人市民も積極的に活動に関われるような機会を広げていくことも重要になってくると思います。

委員は心を一つに楽しく取り組んでまいります。会員の皆さまもご興味をもたれた活動や催しがありましたら、まずは気軽に足を運んでみてください。そこに新しい出会いがあるかもしれません。

(宮城京子委員長)

### にほんごのへや

毎週金曜日の午前と夜に、浦和と大宮で実施（大宮は午前のみ）。

外国人市民とボランティアスタッフによるマンツーマンの学習を通して、市内での生活に必要な基礎的な日本語を学べることを目指す。



### ぶらら

市内の外国人市民の生活に役立つ情報を伝える情報誌。日本語版の他、英語版・中国語版・韓国語版・スペイン語版があり、年5回発行。

### ボランティア養成講座

国際交流・国際協力の分野でボランティアとして活動している、あるいは活動を始めたい市民を対象とした基礎的な知識やノウハウを学ぶ講座。さまざまなテーマで年3回程度実施。

### ユース国際ボランティア

友好フェア等のイベントを通して、学校や学年の枠を超えた若者と市内のボランティアが協働する場や、外国人留学生等との交流を通して、国際性を身に付けていく場を提供。

### ぶらっとあそぼうドットg

子育て中の外国人親子を対象に、子育ての楽しさと安心をもたらすよう交流する場として、毎月第2土曜日午前にさまざまなイベントを実施。

今年度から、新しく「ドットgわいわいサロン」もスタート。第1火曜日を除く、毎週火曜日午前に、ボランティアスタッフや外部講師によるイベントを通して、参加した外国人親子同士がコミュニケーションできる場を提供。

### 語学講座

英語を初めとする各種外国語とその国の文化を学習したい住民を対象として、10回程度の初心者向け講座を実施。

### 日本語ボランティア養成講座

これから日本語ボランティアとして活動を始めた市民を対象として、日本語学習を支援するノウハウを学ぶ10回程度の講座を実施。



# 知る 出会う 楽しむ ぶらっとサロン

いつでも、どなたでも大歓迎！ ぶらっとサロン（以下、サロン）は国際交流が楽しくできる所です。IEC の開館時間中、いつでもどなたでもご利用いただけます。

サロンを入ってすぐの左手にサロンデスクがありますので、まずはそこへ。

サロンデスクでは、ボランティアスタッフがサロンのご案内や IEC の紹介、簡易生活相談などを受け付けています。サロンには IEC の発行する多言語（日、英、中、韓、スペイン）生活情報誌「ぶらら」をはじめ、さいたま市や NGO の発行する情報誌やチラシを置いています。

書棚にある、海外旅行ガイドや日本の暮らしや文化を紹介する本、日本語や日本での生活に役立つ本などは自由に閲覧できます。一部の本を除き、貸出可能（会員のみ）です。

また、毎月「ミニ講座」「展示」「おしゃべり会」（詳細は p.2）など楽しい企画も実施しています。お近くにお越しの際はのぞいてみてください。

異文化交流事業委員会では、サロンスタッフやミニ講座講師を常時募集しています。IEC のホームページをチェック、または、事務局までお気軽に声をかけてください。



“ぶらっと”お立ち寄り下さい！

## ✿ ミニ講座「笑顔と活気に満ちあふれたバングラデシュ」

5月13日、アラム・モハメド・アンサルル氏によるバングラデシュのミニ講座を開催しました。

日ごろあまりなじみのない国、バングラデシュということもあり、54名もの聴講者が集い、サロンは満員になりました。スライドを主体としながら、ときおりクイズや音楽、ビデオを織り交ぜて関心を誘い、長い90分の講義にもかかわらず、聴講者をまったく退屈させませんでした。

「未知の世界でしたがよくわかりました」「もっと聞きたい」など続編を望む声が聞かれました。

次回は7月13日（土）「『世界青年の船』に参加して～世界11カ国の青年と出会って～を開催予定です。



## ✿ はじましての会 じょうずに書けました！

4月20日、浦和コミュニティセンターで、恒例の春の「はじましての会」を開催しました。海外24ヶ国から来日している86名の留学生と市民が集い、ゲームを通して自己紹介をし、だるま落とし、けん玉、輪投げで遊び、墨で色紙に好きな文字を書きました。会場からは初めて会う仲間と楽しい会話があちらこちらから聞こえました。初めて参加した高校生の団体は得意の語学を生かし、留学生と会話をしていました。楽しい思い出がいっぱいできました。



## 子育て支援事業 ぷらっとあそぼうドットg「わいわいサロン」4月よりスタート！

「わいわいサロン」は、親子のコミュニケーションや先輩外国人との交流の場を通して、日々抱えている子育てや生活上の問題などを自分たちで考え知恵を出し合い、お互いに助け合える仲間作りのお手伝いをしたいと思っています。また、同じ国の人と会い母語で思いきり話すことで、マイノリティーな気分から少しでも解放され、様々なストレスの解消に役立つような、居場所をつくることを目指しています。私たちスタッフは参加者と交わり、情報の提供や他団体との連携、行政窓口への橋渡しなどを担い、親の大切な役割である、子育てを応援していきたいと思っています。



第2火曜日：ベビーマッサージとおしゃべり  
第3火曜日：腹話術、手遊びうたとおしゃべり  
第4火曜日：親子体操とおしゃべり  
第5火曜日：情報交換と交流メインに意見交換

## ぼくも通った道だからわかるよ、君の気持ち。「にほんごのへや」子どもコース

毎週金曜日、午後6時から8時、「にほんごのへや」子どもコースを開いています。特に決まったカリキュラムはなく、子どもたちは、宿題を広げたり、ひらがなの練習をしたり、ゲームをしたり。リラックスした雰囲気の中で、ボランティアスタッフの助けを借りて、日本語と日本の学校での生活について学んでいます。ここでは、高校生のボランティアスタッフも活躍しています。中には、子どもコースの卒業生や兄弟、友だちが来て手伝ってくれることもあります。彼らはボランティアスタッフのアシスタントとして、ゲームの手伝いをしたり、日本語や母語で教科学習の手伝いをしたり、時には、学校のことや友だちのこと、進学など

について、先輩として相談にのったりしています。

彼らの存在は、子どもたちに安心と希望を与え、「にほんごのへや」を居心地のいい場所にしています。



## ボランティア奮闘記

### 「現地の心強い友だちになる！」を目標に

— 「にほんごのへや」子どもコース 大澤永実（おおさわえみ）さん（高3） —

「にほんごのへや」でボランティアを始めたきっかけは以前留学をしていた時、他の学校に日本語のクラスがあり、友だちが先生の補助をしていくと聞いて挑戦してみたかったからです。また、自分の留学していた時を振り返ると、現地で友だちができるとうれしくてしかたがなく、すごく心強かったから、自分もそのように思ってもらえる存在になりたいと思いました。

ほとんど全く日本語が話せない状態で日本に来た子が、日本語を話せるようになるにつれて明るくなっていくのを見て、当たり前なことではあるけれど、人間関係を築く上で言葉の大切さを改めて感じました。

にほんごのへやのボランティアをしていて一番うれしかったのは、帰国する前に、友だちとして、“I love u”と言ってくれた友だちができ、相手にとって『現地の心強い友だち』になるという目標が達成できたことです。うれしかった。



にほんごのへやの「友だち」と 左から3人目が大澤さん  
※高校生ボランティアについては事務局までお問い合わせ下さい。

# 大好き！さいたま “さいたま市は私の第二のコキョウです”

毎号、さいたま市在住在勤の外国人にインタビューするこのコラム。テーマは「大好き！さいたま」。今回は5月のミニ講座でバングラデシュを紹介してくれたアラム・モハメド・アンサルルさんにお話をうかがいました。

アラム・モハメド・アンサルルさんは現在さいたま市在住。仕事場は都内ですが、日本語研修センターで過ごした時に感じた「とても住みやすい」という印象が忘れられず、日本語研究のため再び日本を訪れる機会ができ、それならぜひととさいたま市に住むことを決めたそうです。

「東京のような大都会に住むことが好きな人もいるが、私はどちらかというと、静かなところが好きなので。さいたま市は緑もあり、落ち着いていて、必要なものも何でもそろっていて便利です。通勤にもそんなに時間がかかるないので選びました。一番の理由は日本語研修センターで指導してくださった先生たち、親切にしていただいたみなさんと多くの知己をもったこと。この方々とまた親交を重ねたい、この人たちのそばで暮らしたいとの思いが自然にそうさせたのです」



アラムさん一家 一番右がアンサルルさん

「仕事が休みの日には、家族そろってよく北浦和駅前にある公園に行き、木々を渡る風を楽しんだり、噴水などを眺めて過ごします。特に夕方などは、とても美しい光景に出会えます」

アラムさんはサッカーが好きで、埼玉スタジアムにもよく行かれるのだそうですが、買い物にもよく出かけられるそうです。特に自宅から自転車で20分くらいのところにある大型ショッピングセンターがお気に入りで、楽しくて何時間いても飽きないそうです。

「研修の時、“名譽さいたま市民”に選ばれ感激したこと、多くの知人や友人に囲まれて暮らしてきたことで、さいたま市は自分の第二の故郷と感じ、外国にいることをスッカリ忘れててしまうほど自然に感じられます」

何から何までさいたまびいきのアラムさんでした。  
(久保田公一)

## [会員往来]

### モンゴルとの出会いと交流

阿戸 健次

2005年、ライオンズクラブ330地区（東京、神奈川、埼玉、山梨）にモンゴル支援委員会が設置され、初代委員長を拝命し、以来現在まで継続任務中で9年が経過しました。

年に1回はウランバートルを訪問し、現地のライオンズのメンバーと交流しています。大草原で乗馬に興じたり、ゲル（円形の移動式住居）に宿泊し、満天の星を眺めながらモンゴル料理と酒でキャンプファイヤーを満喫するときは最高の気分です。チングイスハン空港とウランバートルを結ぶ沿道の植林事業に、ボランティアとして参加したこともあります。

最近、地下資源の発掘が注目され、日本からの投資も多くなり、銀行買収や新空港の建設受注など話題となっています。所得格差とともに、市街地は公害やスモッグが問題となりつつあり、金持ちとなっ

た人たちは郊外に別荘を持つと聞きます。マンション投資も盛んとなり、5年ほどの間に価格が5倍にもなったとか。モンゴルも中国と同じ不動産バブルのようです。

在日モンゴル留学生会は、例年5月に東京都練馬区光が丘公園で、ハワリンバヤル（モンゴルの春祭）を開催しています。モンゴルの伝統文化を公開したり、モンゴル出身力士達も参加して、会場を盛り上げています。



## 【リレーコラム】



# 姉妹都市リッチモンドを知って欲しい

旧浦和市が米国バージニア州都のリッチモンド市と姉妹都市になってから19年になります。少年野球チームの相互訪問など、さまざまな交流事業が行われています。今年も少年たちが来日する予定です。

でもリッチモンドについて少しでも知っている方が市内にどれだけいるか、となると話は別で、「どこの国にあるの」「バージニアって西海岸でしたっけ」などの答えが返ってきます。

私は、仕事の関係でリッチモンドに8年住みました。家族と私自身の体験をもとに、かの地のすばらしさをできるだけ多くの方に伝えたいと日頃から思っていました。2年前のミニ講座、今年3月の勉強会で発表させていただいたことに感謝しています。発表を思い出しつつお話ししたいと思います。

## 【リッチモンドの自然】

四季のはっきりした温暖な気候で、梅雨はありません。自然災害はほとんどなく、私の滞在した8年間に2度30cmの大雪を経験しただけでした。住宅地は避暑地のような環境で、日本ではお目にかかるない鳥や動物に癒されます。ちなみに、我が家家の常連はリスと虫ほどの小さなハチ鳥たちで、庭に来たシカの親子と巨大フクロウには驚かされました。

## 【リッチモンドの歴史】

米国歴史上最も重要な3つの事件すべての舞台の中心となったリッチモンドは、歴史の町として有名です。入植時代は交易の拠点となり、独立、建国の時代はまさに政治の中心で、初代から5代大統領の内4人までがバージニアから選出されました。南北戦争時代には、リー将軍率いる連合国（南軍）の首都でしたので、敗戦により壊滅的な打撃を受けました。

## 【リッチモンドの経済】

南北戦争後の復興を支えた、たばこ産業は、近年の禁煙の動きにより衰退を余儀なくされましたが、リッチモンドは、現在、米国において最も経済発展の著し

い都市及び地域で、世界的な企業の本社がいくつも存在し、日本企業を含め、海外企業も多く進出しています。高速道路、空港、湾港の設備が充実、土地や水道光熱費が安く、近隣に大学が多い学園都市のため、質の良い労働力を得られることなどがその理由です。

## 【リッチモンドの人】

いわゆる Southern Hospitality、南部人特有の訪問者に対する暖かい対応は、今でも健在で、引越しするたびに、近所の人びとが私たち家族を温かく迎えてくれたことには、今でも感謝しています。信仰心に厚く、キリスト教徒が人口の約85%を占めます。

美しい自然、経済の豊かさ、米国の歴史を彩った土地というプライドにより、自分たちの故郷リッチモンドをこよなく愛しています。それが信仰心と相まって、温和で他人にやさしい人柄を形成しているのだと思います。故郷を強く愛し、誇りを持つがゆえに、自分たちと異なる文化や考えを受け入れ難い面もあります。また、北部の人間に対する複雑な感情は、会津の人が薩長に抱く感情に似ているかも知れません。

以上、この紙面では紹介できなかったことも多々あります。少しでもリッチモンドを理解していただければうれしく思います。

(ボランティアスタッフ 福島 孝)



# IECイベントスケジュール

2013  
Jul

2013  
Sep

## ●ミニ講座 「世界青年の船」に参加して ～世界11カ国の青年と出会って～

7月13日(土)15:00~17:30

場所：ぷらっとサロン

定員：60名（先着順）

参加費：無料

申込方法：次の情報をお知らせください。

①名前 ②電話番号

③住所（市・区のみ）

## ●ミニ講座

### 「ガイドブックにはのっていないフランス ～日本の高校生が住んでみたらこんな所だった！～」

8月17日(土)13:30~15:30

場所：ぷらっとサロン

定員：60名（先着順）

参加費：無料

申込方法：次の情報をお知らせください。

①名前 ②電話番号

③住所（市・区のみ）

## ●スポーツ少年団受入

### メキシコ トルーカ市（サッカー）

7月23日(火)~29日(月)

7月26日(金)

埼玉国際ジュニアサッカー大会予選リーグ出場予定

八王子スポーツ施設A 13:00~ トルーカ vs 茨城  
15:00~ トルーカ vs 岡山

7月27日(土) 28日(日)

順位決定トーナメント出場予定

※対戦チーム、場所、時間は予選リーグの結果によって決定します。

詳しくは埼玉県のホームページでご確認ください。

## ●スポーツ少年団受入

### アメリカ リッチモンド市（野球）

8月3日(土)~11日(日)

## ぷらっとサロンスケジュール

### おしゃべりサロン

英語	18:30~20:00 13:30~15:00	7/10(水) 7/27(土)	8/10(土) 8/24(土)	9/14(土) 9/28(土)
----	----------------------------	--------------------	--------------------	--------------------

※8月からスケジュールが変更になります。

中国語	14:00~15:30 10:30~12:00	7/2(火) 7/18(木)	8/6(火) 8/15(木)	9/3(火) 9/19(木)
		7/27(土)	8/24(土)	9/28(土)

韓国語	13:30~15:00	7/11(木) 7/25(木)	8/8(木) 8/22(木)	9/12(木) 9/26(木)
-----	-------------	--------------------	-------------------	--------------------

スペイン語	10:30~12:00	7/2(火) 7/17(水)	8/6(火) 8/21(水)	9/3(火) 9/18(水)
-------	-------------	-------------------	-------------------	-------------------

ロシア語	16:30~18:00	7/6(土) 7/20(土)	8/3(土) 8/17(土)	9/7(土) 9/21(土)
------	-------------	-------------------	-------------------	-------------------

日本語	13:00~15:00	7/17(水)	8/21(水)	9/18(水)
-----	-------------	---------	---------	---------

### にほんごのへや 毎週金曜日（第5週はお休み）

午前（保育付き）コース 10:00~12:00

午前（保育付き）大宮コース 10:00~12:00

※大宮区役所内

子どもコース 18:00~20:00

夜一般コース 18:00~20:00

夏期子どもコース

※8/20(火)、21(水)、22(木)、27(火)、28(水)、29(木) 14:00~15:30

### ぷらっとあそぼうドットg 每月第2土曜日 10:00~12:00

7月13日(土) 「おやこたいそう」

8月はお休みです

9月14日(土) 「英語でえほん・ミニうんどうかい」

### わいわいサロン 毎週火曜日（第1火曜日を除く）10:00~12:00

8月はおやすみです

募集!

## 国際ふれあいフェア 2013 実行委員募集!!

今年も10月に開催される国際ふれあいフェアに、実行委員として企画から実施まで参加しませんか？ 詳しくはIECまで！

### 【イベント開催】

日程：10月6日(日)

場所：浦和駅東口駅前市民広場

### 〔第1回実行委員会〕

7月10日(水) 10:30~



### [発行元]

社団法人さいたま観光国際協会 国際交流センター

Saitama Tourism and International Relations Bureau (STIB)  
International Exchange Center (IEC)

〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町11-1 コムナーレ9F

TEL 048-813-8500 FAX 048-887-1505

E-mail iec@stib.jp URL http://www.stib.jp/kokusai

開館時間：午前9時～午後8時

休館日：毎週日曜日、5月3・4日、年末年始（12/29～1/3）

